

# 私たちの力で沼津駅の高架化を実現しよう

## 主な記事

- 沼津駅周辺のまちづくりが進んでいます…(1)
  - ・ 杉崎町(三ツ目ガード北付近)・沼津駅北口駅前西側街区
  - ・ 日吉踏切暫定拡幅
- 沼津駅周辺総合整備事業完成までの沼津市負担額…(2)
  - ・ それぞれの事業が一体となって連続立体交差は達成できるのです
  - ・ 市債は私たちと未来の世代との公平な負担方法です
- 鉄道を高架化して自由に通行できる…(3)
  - ・ 大手町片浜線・浜地本町線・白銀町と双葉町を結ぶ道路
- 会の動き ……(4)
- 川勝知事との意見交換会における市民の会の意見…(4)

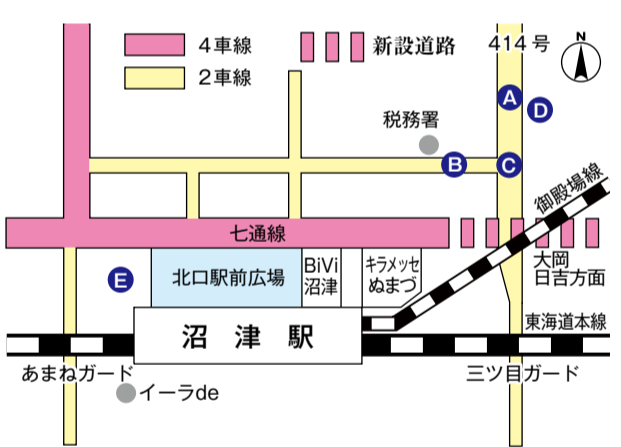


# かけはし

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410-0832 沼津市御幸町14-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 931-1111(代)・FAX (055) 931-1115



**A** 国道414号(三ツ目ガード北側)    **C** 道路の嵩上げ約1.7m(4車線)  
**B** 税務署前の通り    **D** 東側区画整理の着工(平成22年度着工予定)



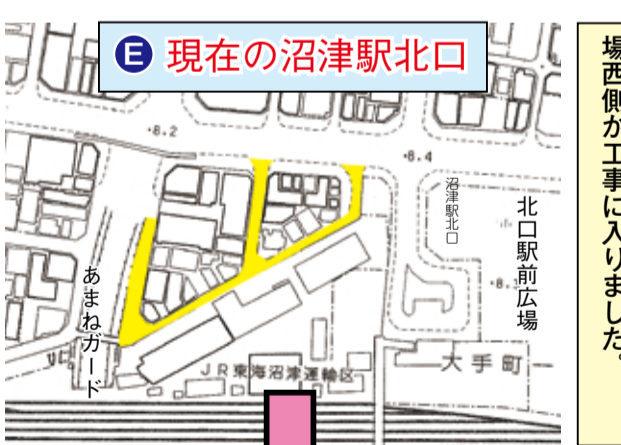
**● 鉄道高架に伴う道路工事が始まりました。**

現在の三ツ目ガードは南北の幹線道路で、大量の自動車が集まり、ボトルネック箇所となっています。昭和初期に作られたガードは狭く、天井も低く、かつ入口は急カーブとなっており、大型の消防車等の通行に支障をきたしています。また、集中的に雨水が集まるため、冠水通行止めを引き起こしています。そのため、早くから高架化により諸問題を解消することが望まれてきました。

今、この三ツ目ガード北側の国道414号沿い(杉崎町地内)では、土地区画整理事業が急ピッチで進められ、平成21年度から道路西側の宅地を鉄道高架後の将来の姿に合わせて上げる工事が始まっています。また、東側の宅地も平成22年度から同様に整備され、平成23年度完成予定となっています。

将来、三ツ目ガードは4車線となり、交通渋滞が解消されるとともに、騒音や排気ガス等の低減が図られ、安全で快適な生活環境への改善が期待されます。

# 沼津駅周辺のまちづくりが着々と進んでいます。



**● 日吉踏切の暫定拡幅工事が完了しました。**

東海道本線日吉踏切と御殿場線高田踏切には生まれた狭い道路は、三ツ目ガードの渋滞を避けた抜け道として自動車の流れ込み、踏切による遮断もあって、頻りに渋滞を引き起こしています。

そこで、平成21年度は、歩行者などが安全に通行できるよう、日吉踏切を暫定的に拡幅し、歩道の整備を実施しました。

また、平成22年度は、同様に高田踏切を暫定拡幅する予定です。

# 沼津駅周辺総合整備事業完成までの沼津市負担額

それぞれの事業が一体となって始めて連続立体交差の目的は達成できるのです。(平成21年度以降)

沼津駅周辺総合整備事業に係る市の負担について(平成21年度以降)

|                 |                   |                            |                      |                               |
|-----------------|-------------------|----------------------------|----------------------|-------------------------------|
| 鉄道高架事業<br>186億円 | 鉄道高架関連事業<br>175億円 | 沼津駅周辺<br>土地区画整理事業<br>119億円 | 関連道路<br>整備事業<br>79億円 | 東部コンベンション<br>センター整備事業<br>36億円 |
|-----------------|-------------------|----------------------------|----------------------|-------------------------------|

高架化を進めることで、まちの中心に大規模な、土地区画整理事業や関連道路整備事業を行うことができます。

平成21年度以降の沼津駅周辺総合整備事業の総事業費約1,546億円のうち、沼津市の負担額は約595億円で、これは5つの事業の合計金額となります。(図参照)

### 鉄道高架事業

約186億円は、県が実施する高架本体や新車両基地・新貨物駅の施設整備等への市の負担金です。

### 鉄道高架関連事業

約175億円は、新車両基地・新貨物駅の用地取得費、これらの周辺に緑地や調整池などを整備する移転先周辺整備などの市負担額です。

### 土地区画整理事業

約119億円は、駅南、駅北の土地区画整理事業にかかる市負担額です。

### 関連道路整備事業

約79億円は、都市計画道路の整備にかかる市負担額です。

### 東部コンベンションセンター整備事業

約36億円は、キラメッセぬまづの後継となる展示イベント施設、市民ギャラリー、立体駐車場の整備などにかかる市負担額です。

### ●一般会計

市が、市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉、ごみ処理など、私たちの暮らしに直接関係ある様々な事業を行うための会計です。

一般会計より  
**沼津市負担額  
約595億円**

(総事業費約1,546億円の内)

市債分  
約216億円

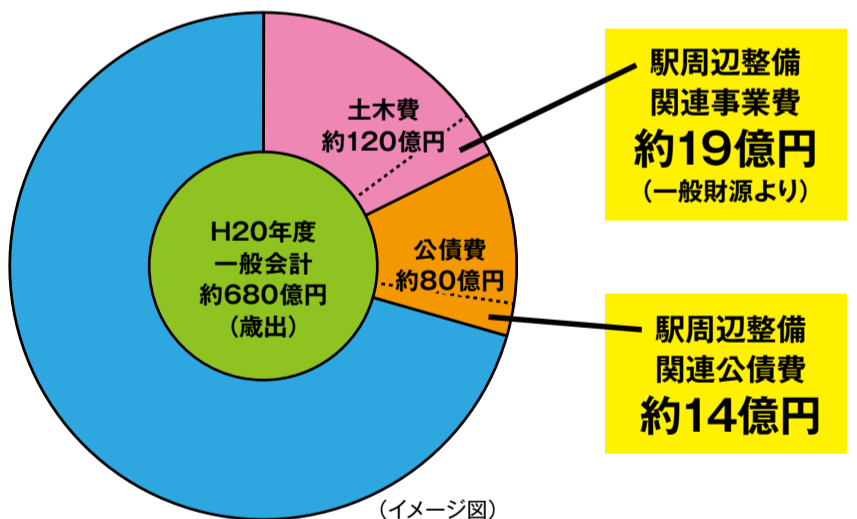
(元利均等払い)

市債約216億円に対する利子総額(利率年2.5%)として約66億円

**20年間**  
(3年据え置き)

## 市債は私たちと未来の世代との公平な負担方法です。

事業にかかる費用は、毎年の通常の予算のなかで無理なく支出できます。



(平成20年度沼津市決算書をモデルに支出を考えました。)

仮に、市が負担するすべての事業費と市債の返済、利子を今後20年間で均等に支出するとしても、毎年の支出は一般会計の土木費約120億円のうち約19億円、公債費約80億円のうち約14億円となり、通常の予算の中で無理なくまかなえるものと考えられます。(平成20年度沼津市一般会計決算額にあてはめた場合)

### 市債とは

学校、道路、公園など、長い年月使用する公共施設を建設する際、そのような施設の費用は、建設したときの市民だけがすべてを負担するのではなく、分割払いにして、建設後に利用する市民にも負担してもらうために市債として借入します。このようにすることで公共施設を利用する人が設備費用を公平に負担することができます。

### 市債のしくみ

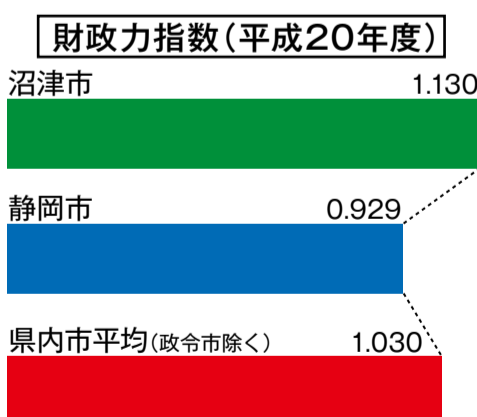
1年度ごとに、償還期間20年間で3年据え置き、元利均等払い等の条件で借入れを行います。なお、国の指導のもと無制限な借入れができないしくみになっています。

そこで、市債の借入れにより資金を調達し、それを計画的に返済していくことで、その年度の建設費用を最小限に抑えることができます。

### 沼津市の財政は健全な財政運営状況を示しています。

#### ●財政力指数とは

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数です。これは、平均的な行政運営を行った場合に必要なお金を市税などによる市の標準的な収入で、どれくらい自力で調達できたかを計るものです。この数値が高いほど財源に余裕があることを意味しています。沼津市における平成20年度単年度の財政力指数は1.130で政令市を除いた県内市平均よりも上回っています。



### Q&Aコーナー

Q この「総事業費」とは何ですか。

A 鉄道高架事業を中心としたすべての関連事業にかかる費用のことです。

Q 沼津市の負担はどれくらいですか。

A 約595億円で、これは総事業費の約3分の1程度です。残りは国や県などが負担してくれます。

Q どのように支払いをしていますか。

A 沼津市は、毎年度の一般会計予算の中から、事業費の支出や市債の償還を行ないます。

Q 市債の償還条件は。

A 事業期間中、その年の事業実施に必要な額を借入れします。償還条件は3年据え置きの20年のローンで、利率は年2.5%を想定しています。元利均等払いなので、毎年度決まった額の支払いとなります。

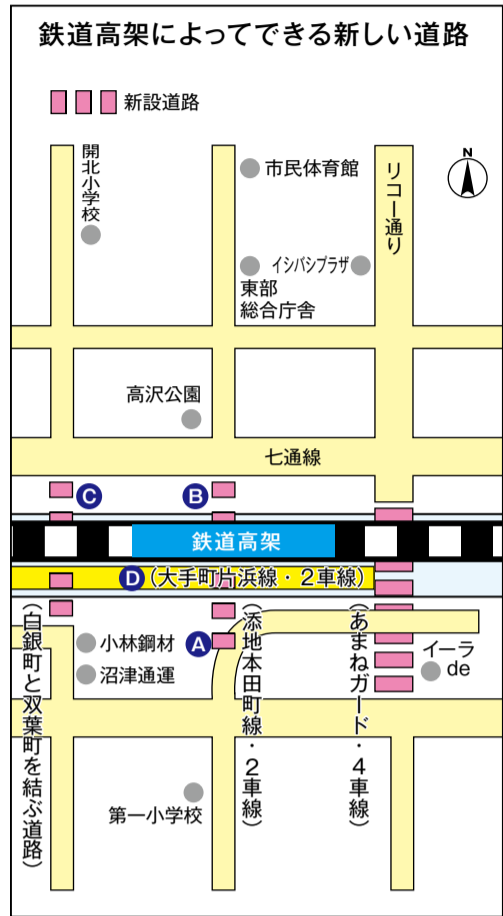
Q 次の世代に借金を残すのではないですか。

A 現在を生きる私たちは、先人が残してくれた社会基盤のうえで便利な生活をしており、その恩恵を受けるとともに整備に要した借入れを返済しています。次の世代のために社会投資(負担)をすることが必要なのです。

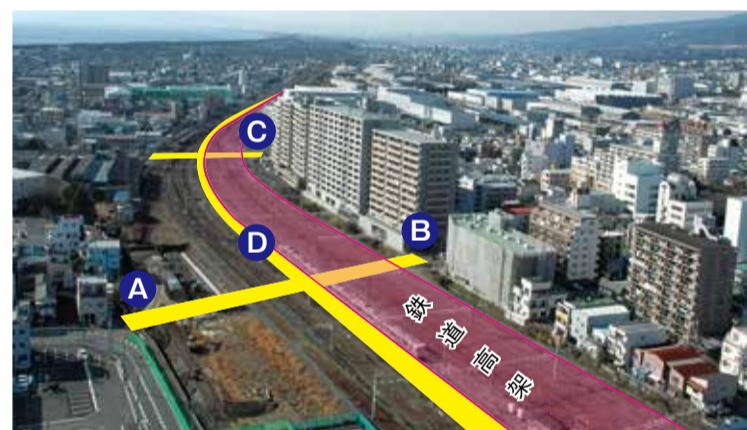
Q この事業は「コンクリート」ですか。「人」ですか。

A 施設を作るのが目的ではありません。鉄道を高架化して踏切をなくし、「人」中心の新しいまちや道を作り、人の暮らしを豊かにするための事業です。

# 鉄道を高架化して自由に通行できる 新しい道路(南北・東西)ができます。



駅の西側で新しい  
まちづくりが進んでいます。



● 駅周辺と片浜地区を結ぶ新たな東西道路が予定されています。

現在、沼津駅の西側で鉄道の南北を車で行き来できる道路は、2箇所しかありませんが、高架後は新たに添地町と高沢町を結ぶ道路(A)、(B)、白銀町と双葉町を結ぶ道路(C)の2本が高架下に開通します。

現在、踏切もなく行き止まりですが、これらの道路が完成すると、鉄道の南北を行き来する自動車の流れが分散し、他の道路の流れも良くなります。

また、歩行者・自転車用の通路が他にも複数整備されるため、歩行者や自転車の南北の行き来も一層便利になります。

● 駅周辺と片浜地区を結ぶ新たな東西道路が予定されています。

鉄道高架は、今の鉄道敷地の北寄りに建設され、線路の幅もスリムになるため、高架後は南側に带状の土地が生まれてきます。

そこで、高架後は現在の線路が撤去され、その跡地に沼津駅周辺と片浜地区を結ぶ2車線の東西道路(大手町片浜線・D)が整備されます。

この道路によって、地域住民の交通の利便性向上はもちろん、中心市街地から片浜地区へのアクセスが格段に向上することなども期待できます。

● 駅西側に新たな南北道路2本の整備が予定されています。

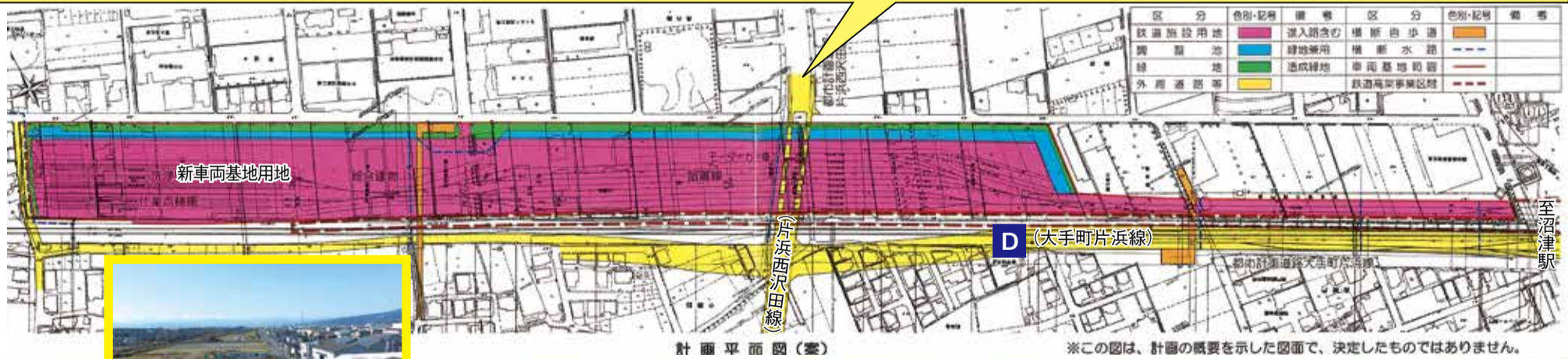
現在、沼津駅の西側で鉄道の南北を車で行き来できる道路は、2箇所しかありませんが、高架後は新たに添地町と高沢町を結ぶ道路(A)、(B)、白銀町と双葉町を結ぶ道路(C)の2本が高架下に開通します。

現在、踏切もなく行き止まりですが、これらの道路が完成すると、鉄道の南北を行き来する自動車の流れが分散し、他の道路の流れも良くなります。

また、歩行者・自転車用の通路が他にも複数整備されるため、歩行者や自転車の南北の行き来も一層便利になります。

## 新車両基地用地は、約100%取得し、周辺整備も進められています。

沼津駅へ直進する東西道路(大手町片浜線)・立体交差する南北道路(片浜西沢田線)が予定されています。



会の動き

沼津駅の高架化を実現する市民の会は  
連続立体交差事業(鉄道高架事業)の  
早期実現のため様々な活動を展開しています

事業年度

平成21年 4月1日  
平成22年 3月31日



一、会議の開催

(1) 総会

期日 平成21年7月13日(月)  
会場 ブケ東海沼津  
議案

- ①平成20年度事業報告・収支決算について
- ②平成21年度事業計画(案)・収支予算(案)について

報告

「沼津駅周辺総合整備事業の取り組み状況について」  
沼津市 沼津駅周辺整備事務局 局長 加藤 裕孝氏

記念講演

「高次都市機能を備えたまちづくり〜東部コンベンション施設の概要〜」  
講師・静岡県建設部理事 木村 忠幸氏



(2) 全体会議

期日 平成22年2月2日(火)  
場所 沼津市民文化センター  
大会議室

講演

- ①「沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況について」  
講師・沼津市 沼津駅周辺整備事務局 局長 加藤 裕孝氏
- ②「沼津駅周辺の土地区画整理事業の進捗状況について」  
講師・独立行政法人 都市再生機構 東日本支社 静岡東部特定再開発事務所 所長 磯田 悟氏



講演に先立ち、栗原市長から「先日の意見交換会では、県知事から沼津貨物駅は不要との提案がありました。それに伴い、鉄道高架もやめるといふような誤解がされておりますが、市としては、今後も強い意志をもって鉄道高架事業の推進に向け、取り組んでまいりますので引き続きご協力いただきたい」とのあいさつがありました。

(3) 正副会長・常任委員会

期日 平成21年6月29日(月)  
場所 沼津商工会議所役員室  
議題  
定時会員総会に諮る議案について

- ①平成20年度事業報告・収支決算について
- ②平成21年度事業計画(案)・収支予算(案)について報告
- ③沼津駅周辺総合事業の進捗状況について

報告・顧問 衆議院議員 倉田 雅年氏

報告・沼津市 沼津駅周辺整備事務局 局長 加藤 裕孝氏



(4) 正副会長会議

期日 平成21年10月15日(木)  
場所 沼津商工会議所会頭室  
議題 県知事への要望について

期日 平成21年11月19日(木)  
場所 沼津商工会議所役員室  
議題 県知事への要望について

(5) 事務局会議

- 第1回 平成21年6月23日(火)
- 第2回 平成21年9月18日(金)
- 第3回 平成21年11月5日(木)
- 第4回 平成22年3月10日(水)

二、視察見学会

期日 平成21年8月26日(水)

内容 沼津駅の高架化・周辺整備事業の進捗状況視察見学会  
視察先 キラメッセ―七通線―杉崎町区画整理現場―添地町区画整理現場―新車両基地

予定地―新貨物駅予定地―キラメッセ



三、広報啓蒙活動

(1) 沼津駅付近鉄道高架建設促進期成同盟会会員市町等を訪問

期日 平成21年4月8日(水)  
「かけはし」を配布

- (2) 広報紙「かけはし」発行  
第25号(平成22年3月31日発行) 8万5千部印刷・全戸配布

川勝知事が高架事業の推進を力強く表明

(小野登志子県議)

沼津駅付近鉄道高架事業は、県東部地域のまちづくりとして一日も早い完成が期待され、これまで数々の法的手続きを積み重ねてきました。  
知事は意見交換会の中で「沼津駅周辺の交通渋滞をなくさなければならぬ」と鉄道高架化の必要性について、理解を示されたと聞いておりますが、住民の期待に応えるべく、今一度、鉄道高架事業に対する姿勢について、明快なお答えを賜りたく存じます。

(川勝知事)

鉄道高架事業を始め、長い歴史を経て、市民合意が形成され描かれたものであり、これは、沼津駅周辺の将来像に関わる大変重要な事業でございます。私はこの鉄道高架事業を始めとする沼津駅周辺総合整備を、推進していくということにおいて変わりありませんので、この点は強く申し上げておきたいと存じます。

(静岡県議会平成22年2月定例会代表質問より(要旨))

川勝知事との意見交換会における市民の会の意見



市民の会 会長 後藤 弘全

私たち「沼津駅の高架化を実現する市民の会」は、昭和六十三年の設立以来、長年にわたり鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業の早期実現のために、関係機関への陳情や、市民啓発活動などを展開してまいりました。

さて、本年一月二十三日に原の松蔭寺で開催された「沼津駅付近鉄道高架事業に係る知事との意見交換会」では、推進派の代表として出席し、川勝知事に対して、事業の必要性を訴えましたが、改めて市民の会の代表としての意見をこの紙面を借りて表したいと思っております。

ご存知のとおり、沼津駅付近の鉄道高架事業は、中心市街地における南北交通の分断や、浸水道路の解消を図り、土地区画整理事業や、県、市が共に取り組む東部コンベンションセンターの整備などとともに、静岡県東部地域の拠点都市にふさわしいまちづくりを進める事業であり、長い経過の中で民主的に合意形成され、多くの市民が一日も早い完成を待ち望んでいる事業であります。

さらに、本事業を進めることにより、中心市街地の交通の円滑化が確保されるとともに、伊豆半島への幹線道路の整備が促進されることで、静岡県東部地域全体の利益につながります。

私がこの会の役員となつてから、市長選挙二回、市議会選挙一回が行われ、その結果として、推進の意思が確認されています。現在、事業は着々と進められていますが、未だ中心市街地は鉄道で南北が分断され、車両基地、貨物駅による占用が続いており、市民生活や都市機能に障害をきたしております。

意見交換会を終えた際、知事の考えを尊重することを申し上げましたが、それは鉄道高架事業の事業主体が県であり、「事業実現を前提とした貨物駅の計画変更であれば、やむを得ない」と考えたものであります。私の希望はただ一つ、鉄道高架の早期完成であり、川勝知事には、早い時期に貨物駅問題に適切な判断をお願いしたい。ただそれだけです。



沼津駅付近鉄道高架事業意見交換会 平成22年1月23日(土)

意見交換会での主な市民の会の主張

- 鉄道高架事業は、市民だけでなく、訪れる人も効果を実感できる。これまで多くの人が協力して土地を提供してきた事業だ。
- 国道414号は大型観光バスにとって不便で、旅行者、来訪者にとって快適ではない。鉄道高架事業で南北の行き来がスムーズになるよう期待している。
- 鉄道高架事業は、極めて民主的な手続きによって進められてきたものの。パブル期の計画という人がいるが、実際は、平成15年の金融危機の中で国庫補助採択された、全国でも優先順位の高い計画であると聞いている。
- 県東部地域に欠けているのは高次都市機能。これを支えるための基盤整備として鉄道高架事業が必要。市の発展は、子供たちの将来の支えになる。鉄道高架事業の実現で、子供たちに素晴らしい沼津を残してほしい。
- 一本松や桃里のまだ土地を売っていない地権者の中には、事業に協力したいという声も聞こえてくる。全員が反対というわけではない。